



農林大学校の動き(H30年12月)

2019. 1. 10

島根県立農林大学校 (担当:教育部 松本)

TEL:0854-85-7011 FAX:0854-85-7113

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します。



○農業女子と農林大女子学生との交流会開催(11/22)

幅広い世代での農業女子のネットワークづくりを目的に初めて開催。農業女子研修コースの受講生のうち10名と農林大学校女子学生19名(林業科を除く)に(株)扇原茶園の佐々木京子氏が加わり、意見交換により交流を図った。学生からは「10年後の夢」、農業女子からは「農業をされていて楽しかったこと」、「今後叶えたいこと」などを発表し、女子ならではの交流が深まった。



○食肉衛生検査所及び食肉処理場を見学(11/26)

肉用牛専攻の2年生5名が、食肉衛生検査所及び食肉処理場を見学し、食肉衛生等について学んだ。
今年度で5回目となり、特別講義の形式で実施。



○島根県新規就農者・農業研修生等交流会に本校学生が参加(東部11/27・西部11/30)

東部会場(安来市)に11名、西部会場(吉賀町)に4名の学生が参加。先輩農家から将来の目標や日頃の悩みに対してアドバイスを受け、充実した交流が図れた。



○平成31年度一般入学試験(前期)の実施(12/5)

県内からの受験者7人(農業科5人、林業科2人)に対して筆記(一般教養、数学、小論文)と面接試験を行った。選考の結果、受験者全員を合格とし12月21日に発表。今後、一般入学試験(後期:平成31年2月13日)を経て平成31年度の入学生を決定する。



○日本農業技術検定に農業科学生が挑戦(12/8)

学生34名(1級4名、2級22名、3級8名)が農林大学校を会場に一般の就農者などと共に受験。試験結果通知は1月11日の予定。



○島根県農業担い手育成に係る平成31年度研修生の募集開始(12/10)

県内でこれから農業を開始しようとする研修生を募集中。研修期間は原則1年間。募集期間は12月10日から1月31日まで。

○プロジェクト発表会開催(12/13・14)

中国四国ブロックの発表会が早まったため、例年よりも早く開催。2年生40名が2年間かけてまとめた卒業論文を発表。学生や職員の数々の質問に丁寧に答えていた。優秀者は、1/16・17に開催される中国四国ブロック農業大学校等プロジェクト発表会(徳島市)に本校代表として参加。

○農業科1年生(23名)が普通救命講習受講(12/18)

大田消防署で、人工呼吸の仕方やAEDの使用方法等について学び、講習後に修了証の交付を受けた。

12月号(その2)



○H30 年度第 2 回花育「メリークリスマス～サンタも欲しがるスワッグ作り～」実施(12/19)

花を扱う楽しさや、花を身近なものとしてデザインする楽しさを園児に感じてもらうため、大田市立波根保育園の園児 13 名(5 歳児)を対象に、「クリスマススワッグ」作りを本校花き専攻学生が指導。

○「年金セミナー」を開催(12/20)

出雲年金事務所の担当者を講師に、学生全員が公的年金の仕組みや制度の内容、20 歳になった時の手続き等を学んだ。



皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。